

「横浜フランス月間2023」期間中に 駐日フランス大使が横浜市立大学で講演

横浜市立大学と横浜市は、7月12日（水）にフィリップ・セトン駐日フランス共和国大使の講演会を、横浜市立大学金沢八景キャンパスにて開催します。今回の講演は、「10年を迎える日仏の特別なパートナーシップ～教訓と展望～」というテーマでセトン大使にお話しいただきます。

横浜市内には、フランス政府の公式機関「横浜日仏学院」があり、毎年「横浜フランス月間」を開催しています。今回はそのプログラムの一つとして、本講演が行われます。

横浜市立大学では、フランスのリヨン第三大学との交換留学プログラムを、また医学部ではパリ・シテ大学およびストラスブール大学との交換留学（クリニカル・クラークシップ）を実施しています。なお、横浜市とリヨン市は1959年から姉妹都市として様々な交流を行っています。

<講演会概要>

日時：令和5年7月12日（水）14時30分～16時00分

会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス 総合研究教育棟1階 カメリアホール
（横浜市金沢区瀬戸 22-2）

対象：横浜市立大学学生・教職員（使用言語：フランス語・日本語）

テーマ：「Dix ans de partenariat d'exception franco-japonais : enseignements et perspectives」
（10年を迎える日仏の特別なパートナーシップ～教訓と展望～）

講師：フィリップ・セトン 閣下（駐日フランス大使）

司会：上村 うえむら 雄彦 たけひこ 教授（国際教養学部）

<プログラムスケジュール>

時間	内容
14:30 - 14:35	開会挨拶・セトン大使の紹介
14:35 - 15:30	セトン大使講演
15:30 - 15:50	質疑応答・学生との意見交換
15:50 - 16:00	閉会挨拶・セトン大使と学生との写真撮影



プロフィール

フィリップ・セトン 閣下（駐日フランス大使）

1966年1月12日パリ生まれ。パリ・ソルボンヌ（パリ第4）大学で歴史学を専攻した後、パリ政治学院および国立行政学院に学ぶ。1994年卒業後、フランス外務省に入省し欧州各地にて要職を歴任。EU政治・安全保障委員会フランス政府代表部大使や本省ヨーロッパ局長等を経て2020年9月より現職。

※当日取材をご希望される場合は7月11日（火）17時までに下記までお問い合わせください。
なお、セトン大使への取材は不可となっておりますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先		
（講演会・当日の取材について）	横浜市立大学グローバル推進室担当課長	胡子 佳子 Tel 045-787-2423
（フランスとの交流について）	横浜市国際局国際連携課欧州米州担当課長	川島 とも子 Tel 045-671-4721

（裏面あり）

＜駐日大使講演会 開催実績＞

横浜市立大学では、グローバルな視野をもって活躍する人材の育成を目的に、平成22年度から毎年各国の駐日大使をお招きして、英語または大使の母国語による講演会を開催しています。対面で実施されるのは令和2年以来4年ぶりです。

平成24年	フォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使	平成30年	ステイブソン・ペイトン駐日ニュージーランド大使
平成25年	アケチ=オクロ駐日ウガンダ大使	平成31年	ルマ・スマツ・ンゴニヤマ駐日南アフリカ共和国大使
平成26年	ネナド・グリシッチ駐日セルビア共和国大使	/令和元年	
平成27年	マッケンジー・クラグストン駐日カナダ大使	令和2年	イアン・バーニー駐日カナダ大使
平成28年	ワモン・カラツァ・マ付駐日ケニア共和国大使	令和3年	クレモンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使
平成29年	ローラン・ピック駐日フランス大使	令和4年	パウエル・シルフ駐日ポーランド共和国大使

＜横浜市とフランスの交流について＞

【横浜市とフランス大使館等との交流】

- 横浜市にはフランス政府の公式機関として、市民を対象とした語学教育や、日仏の文化交流・各種文化イベント等を行う「横浜日仏学院」があります。横浜日仏学院では毎年6月をフランスの月と位置づけ、「横浜フランス月間」として、期間中、様々なフランス関係のイベント（音楽、美食セミナー、展覧会など）を開催しています。

主催：横浜日仏学院 共催：（公財）横浜市芸術文化振興財団
後援：横浜市にぎわいスポーツ文化局

- 横浜市では2018年から毎年、日本未公開のフランス映画の最新作を鑑賞できる「フランス映画祭」が開催されています。

主催：ユニフランス
共催：横浜市、フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本

【横浜市とリヨン市との姉妹都市交流】

- リヨンは映画と美食で知られるフランス第3の都市です。
- リヨンは、古くから絹織物産業が発展していました。19世紀に欧州で流行した蚕の病気で絹産業が危機に陥った際、リヨンを救ったのが横浜港から輸出された日本の生糸でした。絹の取りもつご縁で両市は1959年に姉妹都市となりました。



港の見える丘公園には、リヨン市から寄贈されたバラが生育しています。



令和5年3月には、横浜日仏学院の協力の下、瀬谷区とリヨンの中学生がオンラインで交流しました。